

第3章 水需要予測

第3章 水需要予測

3.1 人口予測

(1) 行政区域内人口の予測

立山町の行政人口は、日本全国の傾向と同様に、年々減少しています。平成17年度～平成26年度の過去10年間では、28,609人→26,875人と約1,700人の減少となっています。

人口減少の主な要因は、進学・就学のための町外への流出人口が増えたこと、出生率の低下などが挙げられます。

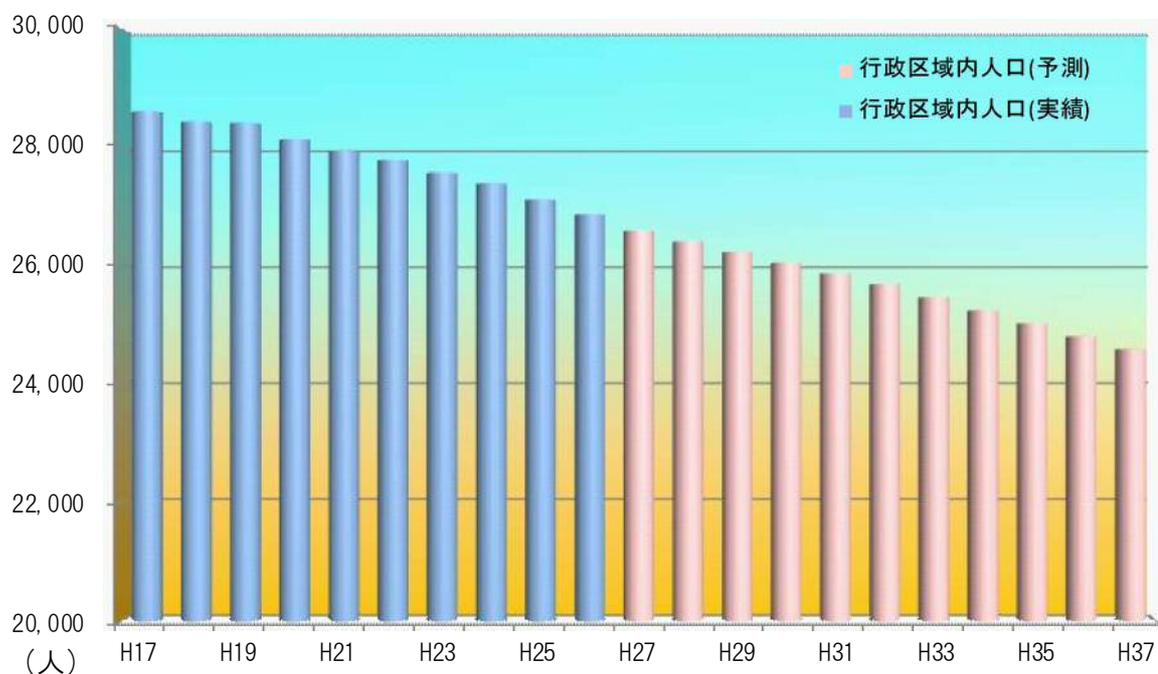
今回の「立山町水道ビジョン」では、「立山町人口ビジョン」の平成37年度での予測値の24,600人と推計しました。

(単位：人)

実績値										
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
28,609	28,437	28,418	28,136	27,938	27,788	27,578	27,399	27,126	26,875	
予測値										
H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
26,600	26,419	26,239	26,058	25,878	25,700	25,479	25,259	25,038	24,818	24,600

(実績値：住民基本台帳より)

行政区域内人口の実績と予測



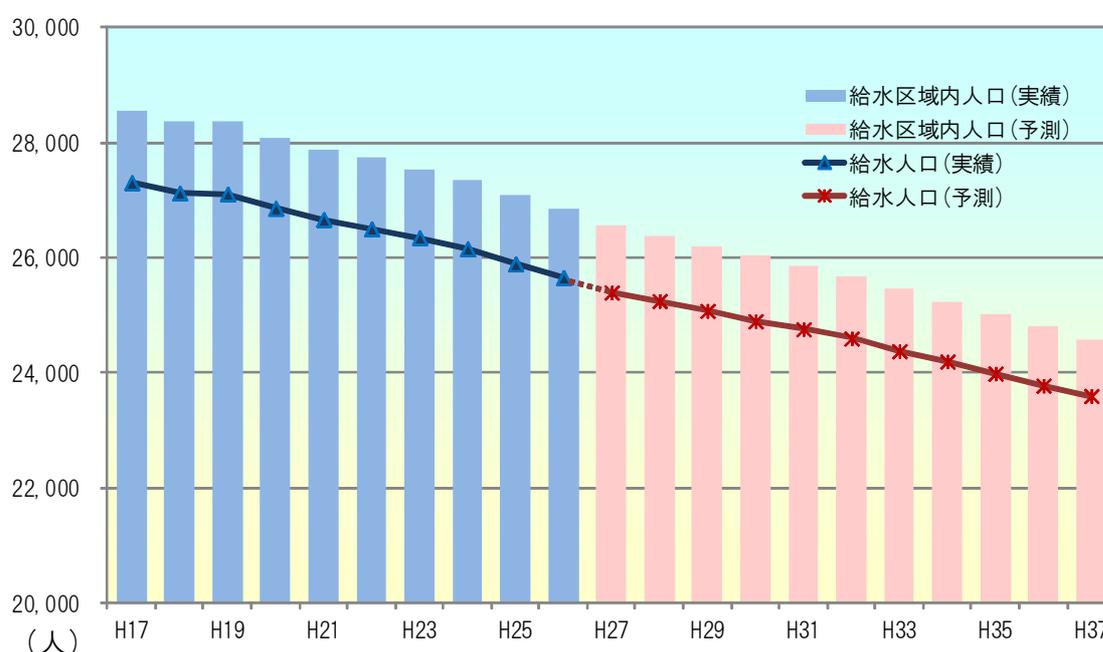
(2) 給水人口と普及率

立山町の給水普及率は、平成26年度現在で95.6%になっています。

水道普及率の全国平均値は97.7%(平成25年3月31日現在)となっていますが、立山町は豊富な地下水に恵まれていることから、各家庭で井戸を所有している率が高く、給水普及率が全国平均に比べ、やや低い要因となっています。

今後は、国の施策を受けて、町民の健康を守るためにも、水道水への切替えを推進して、目標の平成37年度で96.0%、将来的には、普及率100%を目指します。

給水人口の実績と予測



$$\text{計画給水人口} = \text{計画給水区域内人口} \times \text{計画給水普及率}$$

計画給水区域内人口の推計値は、計画行政区域内人口の減少傾向と同様、年々減少していきます。計画給水人口についても、同様に減少していくこととなります。

*** (参考) 既計画値との比較 ***

◆立山町上水道	(水道ビジョン)	(第6次拡張推計)
計画行政区域内人口	: 24,600人(H37)	← 26,170人(H34)
計画給水区域内人口	: 24,580人(H37)	← 26,150人(H34)
計画給水人口	: 23,600人(H37)	← 25,117人(H34)

第3章 水需要予測

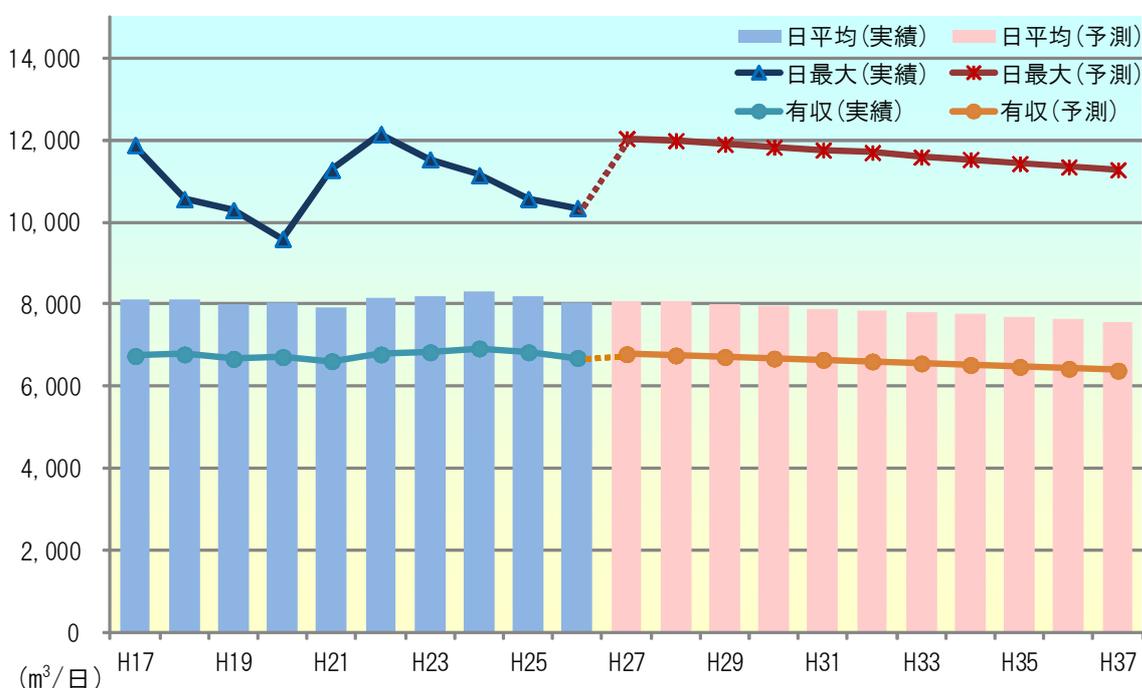
3.2 給水量予測

(1)立山町上水道

一日平均給水量の過去10カ年の実績は、約8,000m³/日～約8,300m³/日の間で推移してきて、近年はほぼ横這い傾向を示しています。予測では、給水人口の減少による使用水量減少に伴い、計画水量は減少傾向となり、計画一日平均給水量を7,580 m³/日(H37)としています。

一日最大給水量は、冬期に発生することが多く、過去10カ年での実績最大値は、平成22年度の12,152 m³/日となっています。予測では、今後も同様に冬季の使用量が増加すると考え、過去の動向から計画一日最大給水量を11,280 m³/日(H37)としています。

給水量の実績と予測（上水道）



（参考）既計画値との比較

◆立山町上水道	(水道ビジョン)	(第6次拡張推計)
計画一日平均給水量：	7,580 m ³ /日(H37)	← 7,941 m ³ /日(H34)
計画一日最大給水量：	11,280 m ³ /日(H37)	← 11,808 m ³ /日(H34)

3.3 計画値のまとめ

今回の予測結果のまとめは、以下の表のとおりです。

(1)人口の予測

(単位：人)

項 目	H26実績値	計画値	
		既認可 H34目標値	水道ビジョン H37目標値
行政区域内人口	26,875	26,170	24,600
給水区域内人口	26,840	26,150	24,580
給水人口	25,657	25,117	23,600

(2)水量の予測

(単位：m³/日)

項 目		H26実績値	計画値	
			既認可 H34目標値	水道ビジョン H37目標値
有収水量	上水道	6,702	6,679	6,393
1日平均給水量	上水道	8,043	7,941	7,580
1日最大給水量	上水道	10,348	11,808	11,280

